

2 次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

天

やまのくちばく
山之口貌

草にねころんでいと
眼下には天が深い

風

雲

太陽

① 有名なものたちの住んでいる世界

天は青く深いのだ

□

からだが落っこちそうになってこわいのだ

② ぼくは草木の根のように

土の中へもぐりこみたくなってしまうのだ。

問一 ——— 線①「有名なものたちの住んでいる世界」について、次の

- (1) ・(2)に答えなさい。
- (1) 「有名なものたち」とはどんなものですか。詩の中からすべて書きぬきなさい。

(2) 「有名なものたちの住んでいる世界」とはどこですか。詩の

□

中から一語で書きぬきなさい。

□

問二 (1) 詩の中の□にあてはまることばとして適当なものを次

から選び、記号で答えなさい。また、(2)そのような表現になった理由を説明した、あとの□に合うことばを詩の中から書きぬきなさい。

- (1) ア みあげていると イ みおろしていないと
- ウ みおろしている エ みあげていないと

□

(2) 地面に

□

空を見ていたから。

問三 ——— 線②「土の中へもぐりこみたくなってしまうのだ」とありますが、このように感じた理由として適当なものを次から選び、

記号で答えなさい。

- ア いろいろな生き物が住む空にあこがれを感じたから。
- イ 大地が「ぼく」を引っぱっているように感じたから。
- ウ 空が落っこちてきそうでこわかったから。
- エ 目の前に広がる空の大きさに圧倒されたから。

□

問四 この詩の持ちようを説明したものととして適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 音数に決まりがあり、リズム感や力強さを感じられる。
- イ ふだんとちがう視点でものごとをとらえて表現している。
- ウ 実際には見えないものを、目に見えるように表現している。
- エ 対照的な二つのことから比べる形でえがいている。

□

1 〈漢字の読み書き〉 次の——線部の漢字の読み方をひらがなで、かたかなを漢字で書きなさい。

- ① クラスのみんなが笑う。
- ② ねんぶつを唱える。
- ③ 美しい風景をながめる。
- ④ 朝日を浴びる。
- ⑤ 自然現象を観察する。
- ⑥ 炭に火をつける。
- ⑦ チャンスを失う。
- ⑧ セイセキが上がる。
- ⑨ イキを切らして走る。
- ⑩ キセツ外れの大雪がふる。
- ⑪ 鳥が空をトぶ。
- ⑫ 祭りにサンカする。
- ⑬ 小学校をソツギヨウする。
- ⑭ ヨキせぬできごとが起きる。

⑬	⑪	⑨	⑦	⑤	③	①
⑭	⑫	⑩	⑧	⑥	④	②

2 〈かなづかい〉 次の文の——の中で、かなづかいの正しいほうを選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① { ア みぢかな } 人に相談する。
イ みじかな
- ② ちようちよに、そつと { ア 近づいた。 }
イ 近づいた。
- ③ 子ども { ア どおし } 仲よくする。
イ どうし
- ④ あなたの言う { ア とおり } です。
イ とうり

①	②	③	④
---	---	---	---

3 〈かなづかい〉 次のことばの読み方を、かなづかいに注意して、ひらがなで書きなさい。

- ① 王様
- ② 大空
- ③ 鼻血
- ④ 地面
- ⑤ 小包
- ⑥ 合図

⑤	③	①
⑥	④	②

4

〈送りがない〉 次の——線部のことを漢字と送りがないで書きなさい。
 (送りがないはひらがなで書くこと)

- ① かみがミジカイ。
- ② ウツクシイ花がさく。
- ③ アタラシイ服を着る。
- ④ イサマシイことを言う。
- ⑤ 気持ちをアラワス。
- ⑥ 石がコロガル。
- ⑦ 漢字をオボエル。
- ⑧ 銀行でハタラク。
- ⑨ 家族をヤシナウ。
- ⑩ カナラズ約束を守る。

①		②	
③		④	
⑤		⑥	
⑦		⑧	
⑨		⑩	

5

〈類義語〉 次の□に漢字一字を入れ、類義語(意味の似たことば)を作りなさい。

- ① 欠点□ 所
- ② 準備□ 意
- ③ 外国□ 外
- ④ 天気□ 天
- ⑤ 見当□ 想
- ⑥ 宿屋□ 旅

6

〈対義語〉 次の□に漢字一字を入れ、対義語(意味が反対または対になることば)を作りなさい。

- ① 登山↑↓ 山
- ② 出席↑↓ 席
- ③ 当選↑↓ 選
- ④ 黒字↑↓ 字
- ⑤ 危険↑↓ 安
- ⑥ 人工↑↓ 自

7

〈筆順〉 次の漢字の矢印の画は、何画目に書きますか。算用数字で書きなさい。

- ① 何←
 - ② 皮→
 - ③ 臣↖
 - ④ 耳↗
- | | | | | | | | |
|---|--|---|--|---|--|---|--|
| ① | | ② | | ③ | | ④ | |
|---|--|---|--|---|--|---|--|

8

〈部首・画数〉 次の漢字を漢和辞典の部首さくいんでひく場合、どの部首の何画に出ていますか。例にならって答えなさい。

- 〔例〕村 答え 木 3
- ① 写
 - ② 病
 - ③ 冷
 - ④ 列
- | | | | |
|---|--|---|--|
| ③ | | ① | |
| ④ | | ② | |

9 〈総画数〉 次の漢字の総画数を算用数字で書きなさい。

- ① 印 ② 陸 ③ 強 ④ 好

①

②

③

④

10 〈同音異義語〉 次の——線部のかたかなを漢字で書きなさい。

- ① 五十メートルキョウソウ。 ② 書き取りのキョウソウ。
 ③ 太平洋をコウカイする。 ④ 新発見の化石をコウカイする。
 ⑤ パン屋がカイテンする。 ⑥ プロペラがカイテンする。

①

②

③

④

⑤

⑥

11 〈同訓異字〉 次の——線部のかたかなを漢字で書きなさい。

- ① かけ足がハヤい。 ② 朝ハヤい時間に起きる。
 ③ 小鳥がナク。 ④ 赤ちゃんがナク。
 ⑤ 十時に本屋がアク。 ⑥ 電車の席がアク。

①

②

③

④

⑤

⑥

12 〈慣用語〉 次の慣用語の意味をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① お茶をにごす ② のどから手が出る
 ③ 目と鼻の先 ④ ねこをかぶる
 ⑤ えりを直す

- ア 気持ちを引きしめる。
 イ とても近いこと。
 ウ ほしくてたまらない。
 エ 本当の性質をかくして、おとなしいふりをする。
 オ いいかげんなことを言うなどして、その場をごまかす。

①

②

③

④

⑤

13 〈ことわざ〉 次のことわざの意味をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① さるも木から落ちる ② のれんにうでおし
 ③ 焼け石に水 ④ 人のうわさも七十五日
 ⑤ 帯に短したすきに長し

- ア 手ごたえのないこと。
 イ どんな名人でも時には失敗することもある。
 ウ ちゅうとはんばで役に立たないこと。
 エ 少しぐらいの助けや努力では、ききめがないこと。
 オ うわさは、いつのまにかわすれられていくということ。

①

②

③

④

⑤

14 〈単語〉 次の文はそれぞれいくつの単語（ことばの最も小さいまとまり）からできていますか。算用数字で書きなさい。

- ① すずめが電線にとまる。
- ② ぼくの兄は中学生です。
- ③ 冬が去り、ようやく春になる。

①

②

③

15 〈文節〉 次の文はいくつの文節（文をできるだけ短く切ったひと区切り）からできていますか。算用数字で書きなさい。

- ① 昨日の朝はとても寒かった。
- ② 先生が音楽室でピアノをひいています。
- ③ つくえの上りにりんごが三個ある。

①

②

③

16 〈品詞—ことばの性質〉 次の語群の中に、それぞれ一つだけ性質のちがうものがあります。そのことばを記号で答えなさい。

- | | | | |
|---|-------|------|--------|
| ① | ア 温室 | イ 体育 | ウ 右手 |
| | エ 泳ぎ | オ 歌う | カ 雨具 |
| ② | ア 回る | イ 休む | ウ 話す |
| | エ 遠い | オ 作る | カ 決める |
| ③ | ア だから | イ だが | ウ ゆっくり |
| | エ すると | オ さて | カ それとも |

①

②

③

17 〈主語・述語〉 次の各文の、主語には——線を、述語には~~~~線を引きなさい。

- ① ぼくは三人兄弟の末っ子です。
- ② 大きな声で母がわたしと妹をよんだ。
- ③ 天気予報によると、明日の朝から雨がふるそうだ。
- ④ 田中さんはインターネットでイタリアの料理について調べた。

18 〈修しよく〉 次の——線部はどの語を修しよくしていますか。修しよくされている文節に~~~~線を引きなさい。

- ① とてもあまいみかんを箱から出して食べる。
- ② きれいな海や山を見て、自然のすばらしさに感動した。
- ③ 村田さんは、どんなことがあっても必ず約束を守る。
- ④ ぼくは静かに部屋のまどをしめた。

19 〈文の型〉 文には、ア「何がなんだ」、イ「何がどうする」、ウ「何がなんだ。」の三つの型があります。次の各文は、それぞれの型ですか。記号で答えなさい。

- ① 姉がスーパーに買い物に行く。
- ② ここからながめる景色はともきれいだ。
- ③ 中村さんはバスケットボール部の部長です。
- ④ ゴッホはオランダ生まれの絵かきです。
- ⑤ 真っ赤なバラが庭にさいた。

①

②

③

④

⑤